

平成30年度 学校評価実施報告書

学校番号 40

学校名 千葉県立市川東高等学校

課程名 全日制

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学 校 経 営	<p>①学校評価アンケートの「満足度調査」において、生徒83%（昨年度84%）、保護者92%（昨年度92%）が肯定的評価。</p> <p>②全職員に対しHPの更新方法の研修を実施した。加えて、発信内容における個人情報保護を考慮したチェック機能をルーチン化した。この2点が功を奏し、HPの更新頻度は、ほぼ2日に1回以上と、倍増した。定例の保護者会や日々の配布物に加え、HP、一斉送信メール等を併用したことで、学校の情報提供に対する保護者評価の肯定的意見は良好であった。但し、評価値は83%と2ポイント下がっている。これは、更新頻度が項目によって異なり、HP全領域に渡っての更新ができていないことによる。</p> <p>③中学校訪問は全職員で年1回実施し、本校の教育活動について広報を行うことができた。</p> <p>④適切な安全点検の集計及び措置を行っており、校内環境が整頓されている。</p>	<p>①満足度については、ほぼ昨年度と同水準であったが、生徒の満足度は1ポイント減少した。引き続き、学校の教育環境の充実に努める。</p> <p>②職員に対するHPの更新方法の研修をさらに充実させ、より多くの教員が更新作業に携わるようにする。発信内容のチェック機能を充実させつつ、全ての領域について更新頻度を上げていくことで、保護者だけでなく地域の方にも広く本校の教育活動をご理解いただけるよう努める。</p> <p>③職員が中学校で開催する進路説明会等へ積極的に参加する。また、教育活動への理解が深まるよう学校説明会や1000か所ミニ集会の実施内容を検討する。</p> <p>④職員による主体的な安全点検が実行されるように、措置内容をすぐに共有し、組織的な安全計画を実践する。</p>
学 習 指 導	<p>①学校評価アンケートでの「学校は分かりやすい授業を目指していると思う」に対して生徒の肯定的な意見は70%（昨年度72%）と減少しているが、逆に保護者の肯定的意見は77%（昨年度73%）と増加している。授業公開等で、努力を評価して頂いている。また、校内の授業研究9回（昨年度17回）6月、11月に公開授業週間を実施した。加えて、初任から3年以内の若手の教員は相互に他教科の授業を各自2回以上観察し「研鑽シート」を共有し、授業改善に努めた。</p> <p>②学力向上を目標とした朝自習の参加率は、定期考査中に36.0%が最大値であった。年々増加しているが、目標値には届いていない。（年間平均14.4%）進路希望実現を目指して参加する3年生が多い。</p> <p>③家庭学習を習慣づけるためのスケジュール帳指導は、担任が継続的に行っているが、十分活用できていない生徒もいる。</p> <p>④授業規律改善は、学年・教科担当の指導の継続により良い状態が継続できている。少数ではあるが取り組み姿勢の悪い生徒もいる。</p>	<p>①生徒による個々の授業担当者に向けた授業評価アンケートでの「授業が分かりやすかったか」に対する肯定的意見は86.7%（昨年度86.9%）であり、微減している。相互に授業を観察し合うなどの研鑽を、さらに積極的に実施し授業研究・公開授業・研修会を行う。</p> <p>②平常時も積極的に朝自習を活用するよう各月発行の『学習だより』を利用して、朝自習の目的や意義を伝え、参加率を高めていく。</p> <p>③スケジュール帳記入の意義を理解させ、記入が習慣化するように1年次の指導を丁寧に行う。</p> <p>④わかる授業の展開と授業マナーの指導を行い、主体的な態度を育てる。マナーの悪い生徒については、学年・担任・教科担当が協力して改善のための個別指導に当たる。</p>
生 徒 指	<p>①学期を追うごとに遅刻者が増加した。出席率は向上している。服装は概ね守られている。頭髮に係る逸脱はほぼない。</p> <p>②本校生徒に該当する登下校の交通マナーに関する苦情は、3件あった。（H29年度7件）</p> <p>③「学校いじめ防止基本方針」に基づく、いじ</p>	<p>①家庭との連携を密にし、基本的な生活習慣の確立を図る。特に遅刻者への指導に関しては学校全体で取り組む。（学校評価保護者アンケート「遅刻・欠席指導に対する肯定的な意見90%」）</p> <p>②各学期実施の登下校指導に加え、臨時に登下校指導を行ったことで、交通マナーが改善している。</p>

導	<p>めの未然防止・早期発見を意識した、学年と教育相談委員会との毎月の情報共有が推進されたことで、生徒のスクールカウンセラーへの相談数が増加し、深刻な事態を未然に回避できた。職員研修を実施した。</p>	<p>交通安全講話や安全教室を実施し、重大事故を起こさないよう指導する。(学校評価保護者アンケート「交通安全指導に対する肯定的な意見84%」) ③職員研修を各学期に1回、実施する。生徒に関する情報を共有し、組織的に指導していく。</p>
---	---	--

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
キャリア教育	<p>①進路指導 【進学用課外補習】 (平日) 前期(1学期) 1年:1講座 2年:5講座 3年:10講座 後期(2学期) 1年:1講座 2年:5講座 3年:10講座 (夏季休業中) 1年:8講座54名受講(H29:6講座76名) 2年:6講座25名受講(H29:5講座22名) 3年:17講座144名受講(H29:18講座227名) 【模擬試験等】 ・1・2年基礎学力試験(第1回4/19、第2回9/4) 総合学力試験(第1回11/6、第2回1/22) 3年基礎学力試験(4/19) マーク模試(第1回6/11、第2回9/15、第3回11/4) ・3年小論文模試(第1回6/14、第2回9/19) 【キャリアガイダンスの取組】 ・1年 大学上級学校別見学会(10/31) ・面接指導 第1回(6/5~12)90名(H29:90名) 第2回(10/3~5、15~17)41名(H29:63名) 第3回(10/29~11/2)42名(H29:21名) ②・進路説明会 1年:進路ガイダンス24分科会(10/11) 2年:進路ガイダンス27分科会(11/8) 第1回推薦A0入試説明会(2/21) 3年:大学入試説明会(幕張メッセ会場) 95名参加(4/27) 専門学校説明会(6/7)23名 進路ガイダンス33分科会(5/25) 推薦入試説明会(6/22第2回193名 9/3第3回111名、第1回は2年次実施) センター試験説明会267名(9/4) 推薦決定者説明会92名(9/26) 入試直前ガイダンス 11/27東洋大33名、11/28日本大23名 11/29駒澤大10名、11/30専修大12名 一般入試説明会198名(11/29) ・インターンシップ実施 (夏季休業中) つくばね幼稚園1年9名、2年14名、3年12名 ナース医療体験 (その他の期間) ナース医療体験</p>	<p>①進路指導 【進学用課外補習】 ・平日に実施する進学課外は、前・後期と通年で募集し、後期は追加募集をして実施した。また、夏期休業中の進学課外についても、平日課外とは別に募集をし、開講した。昨年より減少傾向で、特に2年生の申込人数が少ないので、告知の仕方も含め改善を図りたい。 ・1・2年の1、2学期と3年1学期の基礎学力試験実施が定着してきた。また、1、2年の実力試験は、1学期から3学期までの学力の推移を細かく把握するため、2、3学期実施が5年目となった。また、3年の模擬試験は進路指導の充実を考え、3回行った。継続して様子を見たい。 【キャリアガイダンスの取組】 ・1年上級学校見学は今年度が4回目である。今後も継続し、事前・事後の指導の充実を図りたい。 ・今年度は、保護者面談週間、修学旅行期間を利用し2回、さらに生徒のニーズに対応するために10月にも行った。来年度も継続の方向で考えたい。 ②・進路説明会 ・各学年ごとに目的を持った進路ガイダンスを実施することができた。参加数もほぼ同数であった。保護者との連携をとるためにも、各学年の、生徒向けの進路別各種説明会の実施をさらに周知していく。 ・日本大、東洋大、駒澤大、専修大入試直前ガイダンスは実施7年目となった。参加数は微減だが、来年度以降も継続していきたい。 ・来年度も1、2年生中心に実施予定である。</p>

(第3号様式-2)

<p>学校評価の公表について (手段・時期等)</p>	<p>学校からの連絡文書として1・2学年保護者には3月末、3学年保護者には卒業式の日公表する。また、アンケート結果に加え、学校関係者評価の結果をホームページで公表する。</p>
---------------------------------	--

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
<p>学 校 経 営</p>	<p>①ホームページの更新回数・内容については高評価だが、一部偏りがあるとのことである。 ②校舎内の環境整備・安全管理が良くなっているが、老朽化対応も必要である。 ③学校評価における満足度が高い(保護者92% 生徒83%) 評価アンケートから課題を見出し、対応してほしい。</p>	<p>①学校のホームページ及びメール配信システムの効果的な活用を図るとともに、必要に応じて速やかな情報発信を心がける。 ②安全点検後の措置対応を素早く行う。生徒の安全、美化活動への意識を高める。 ③組織力の向上を目標に、全職員で課題解決に取り組んでいく。分掌会議の活性化と横断的な組織運営を推進する。</p>
<p>学 習 指 導</p>	<p>①授業アンケート「授業が分かりやすい」に対する肯定的意見86.7%(昨年度86.9%)と、昨年度に引き続き、目標値を超えることができています。アクティブラーニングの実践や丁寧な学習指導の成果だと考える。 ②アンケートの結果が生徒・保護者・職員とで認識にずれがある。この差を如何に縮めていくかが課題であろう。教科ごとに課題についての対応が話し合われている。 ③朝自習やスケジュール帳の積極的な活用を図り、予習・復習など家庭学習を習慣化させてほしい。</p>	<p>①一層の授業改善を図るために、授業参観、校内研究授業・研修会を実施する。目標値の85%を超えるよう学校全体で取り組む。 ②③アクティブラーニングの実践など授業改善に取り組み、生徒の学習意欲を向上させる。また、家庭での学習を適切に課すことで、学力の向上を図る。</p>
<p>生 徒 指 導</p>	<p>①服装・頭髪指導、遅刻・欠席の指導において生徒・保護者とも85%以上が肯定的評価である。地域住民として本校に関して悪い話を聞いたことが無いとのことである。 ②登下校指導が継続して実施されている。地域からの情報提供を指導に生かし、連携を進めてほしい。 ③小・中・特別支援学校との広域連携を図り、生徒の安全確保を推進することができれば良い。</p>	<p>①高評価に傲らず、全職員で生活指導(服装・頭髪指導 遅刻・欠席指導)に取り組む。家庭との連携をさらに密にし、基本的生活習慣の確立を図る。 ②地域の方や保護者と連携して効果的な登下校指導を行い、事故を未然に防ぐ。 ③地域の学校との情報交換を行う。同時に生徒の交流活動(ボランティア等)を推進し、地域みなさんに応援していただける生徒・学校に成長していく。</p>
<p>キ ャ リ ア 教 育</p>	<p>①保護者の学校評価において、進学補習講座取組みへの肯定的意見が、昨年度69%より大幅に改善した(73%)。進学希望者が増加しているため、対応をお願いしたい。 ②生徒一人一人の進路希望の実現のために、進路講演やガイダンスなど進路指導の充実を更に図ってほしい。</p>	<p>①進学課外の講座内容を充実させる。生徒の積極的な参加を呼びかける。 ②進路講演やガイダンスの内容を充実させ生徒及び保護者への情報提供を積極的に行う。6月の保護者面談において、3か年の進路指導の方針と計画を説明することで、保護者の理解を深め進路指導を行っていく。</p>